

全国の生協で「防災士」資格取得者が300人に ～地域の防災力・減災力強化への貢献を目指す～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、会長：浅田 克己）は、防災に関する取り組みの一環として、全国の生協に呼び掛け、2012年9月より職員の「防災士」※1の資格取得を進めています。2013年度上期中に300人以上がこの資格を取得する見込みです。

※1 防災士とは、地域防災力の向上と減災を進めるために必要な十分な意識と一定の知識・技能を有する人で、特定非営利活動（NPO）法人 日本防災士機構（<http://bousaisi.jp/>）認定の研修会を受講し、試験に合格・認証された人を言います。資格認証制度は2003年に開始され、2013年6月末日現在、6万5,740人が資格を有しています。

■ 大規模自然災害の被害低減のため、「防災士」の育成を進めています

東日本大震災以降、日本生協連では全国の生協とともに「全国生協BCP（事業継続計画）」※2の策定を進めてきました。これにより、発生が危惧されている首都直下地震や東海～南海エリアでの巨大地震など、大規模自然災害への備えを進めています。

また、事業継続計画の策定に当たり、いざという時に災害対応の中軸を担う人材の育成が必要と考え、全国各地で防災士の資格を持った職員を育成することで、以下の3つに取り組んでいます。

- ・生協各事業所の防災力・減災力の強化を図る
- ・地域における防災力・減災力の強化に貢献し、生協の社会的役割を發揮する
- ・「全国生協BCP」発動時の機動力の底上げ・強化を図る

※2 大規模災害が発生した際、全国の生協が迅速かつ効果的に連携して被災地支援に当たるために、必要とされる事項を取りまとめた行動計画です。

■ 2013年度上期中に、全国の生協職員300人が「防災士」に

日本生協連では2012年9月より、全国の会員生協職員の「防災士」資格取得のための研修会参加を支援しています。2013年7月3日現在で、資格取得者数は297人となりました（別紙資料参照）。

特徴的な例として、東日本大震災で大きな被害を受けたみやぎ生協（本部・仙台市）では、災害対策本部メンバーや共同購入センター長など18人が資格を取得。ユーコープ（本部・横浜市）では、神奈川・静岡・山梨の全宅配センター長30人が資格を取得しています。

また、高齢者福祉施設を運営する高齢者福祉生協や医療生協、多くの学生が利用する大学生協、職場での購買事業を行う職域生協など、幅広い業態の生協職員が資格を取得しています。

日本生協連では、今後も全国の生協とともに防災士の育成に取り組む、2013年度中に資格取得者400人を目指します。



研修会の様子
写真提供：
防災士研修センター



資料 全国の生協での「防災士」資格取得人数

2013年7月3日現在

生協種別	生協数	取得人数
地域生協（事業連合含む）	39	185
都道府県連・共済連・連合会	7	54
生協関連子会社	2	23
高齢者福祉生協・医療生協	4	16
大学生協（事業連合含む）・学校生協	6	10
職域生協	6	9
合 計	64	297